

ALUMINIUM NEWS

アスカ工業株式会社アルミニウムニュース

第 659 号
2016 年 5 月 1 日
発行
アスカ工業株式会社
〒444-0303
西尾市中畑町卯新田上28

平成28年度 3.0%増 アルミニウム二次合金・二次地金需要見通し

一般社団法人日本アルミニウム合金協会は、このほど平成27年度のアルミニウム二次合金・同二次地金の需要実績見込みと、平成28年度の同需要見通しを発表した。

これによれば、平成27年度の日本経済は、「大胆な金融政策」、「機動的な財政政策」、「民間投資を喚起する成長戦略」を柱とする政策の推進により、雇用・所得環境等の改善の中で緩やかな回復基調が続いた。

その一方で、中国を始めとする新興国経済の景気減速の影響もあり、輸出が弱含み、個人消費及び民間設備投資の回復に遅れがみられた。

このような経済環境の中で、アルミニウム合金業界においては、コーヒー缶やボトル缶の需要増加により

圧延向け需要が堅調な伸びを示したものの、消費税増税の影響が長引くなかで国内完成車生産が引き続き前年割れとなったことにより、主力の鋳物・ダイカスト向け需要が伸び悩んだことから、平成27年度アルミニウム二次合金、同二次地金需要は1,594,200トン（対前年比97.7%）が見込まれる。

このような状況で、平成28年度アルミニウム二次合金・同二次地金需要見通しを次の通り策定した。

- (1) 鋳物・ダイカスト向け需要は、来年4月の消費税増税による駆け込み需要で国内自動車の増産の見込みと、海外生産用の部品輸出の増加を予想。
- (2) 圧延用に缶需要の堅調が予想。

以上の予測から、2年ぶりのプラス成長の、対前年比103%の1,642,200トンと策定した。

平成28年度アルミニウム二次合金・同二次地金需要見通し

(単位：トン)

項 目	平成26年度	平成27年度実績		平成28年度見通し	
		見 込 み	前年度比%	見 通 し	前年度比%
鋳 物	340,536	331,700	97.4	347,600	104.8
ダイカスト	973,116	942,300	96.8	971,900	103.1
圧 延	200,438	205,800	102.7	207,900	101.0
鉄鋼・その他	118,200	114,400	96.8	114,800	100.3
計	1,632,290	1,594,200	97.7	1,642,200	103.0

(注1) 輸入地金を含む。

(注2) 平成14年1月より、経済産業省統計の統廃合があり、鉄鋼・その他は当協会推定値となっている。

2015暦年 アルミ製品総需要 406.4万トン

日本アルミニウム協会はこの程2015暦年のアルミニウム製品総需要実績を発表した。これによると国内需要は3,804,921トンで前年比1.3%減少し、4年ぶりのマイナスとなったが、輸出が259,057トンと12.0%増と2年連続のプラスとなり、需要合計は4,063,978

トンで前年比0.5%減と2年ぶりのマイナスとなったものの、ほぼ前年並みの数量を確保、2年連続で400万トン台をキープした。

国内需要の用途別内訳は下表のとおりで、主力の輸送向けが前年比0.5%減少、建設向けも同比9.9%減少となったのをはじめ、5部門で前年実績を下回った。一方、食料品向けが同比3.0%増となったほか、金属製品向けは同比0.1%増と前年並みとなった。

圧延品が200万トン台をキープしたが前年比1.3%減少、ダイカスト、製網用その他も前年実績を下回る結果となった。

2015暦年（1～12月）のアルミニウム製品総需要実績

（単位：トン） ▲印はマイナス

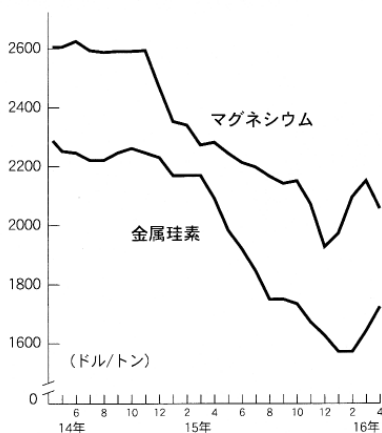
区 分	2014暦年（1～12月）		2015暦年（1～12月）		
	需要実績	構成比（%）	需要実績	構成比（%）	増減率（%）
① 食 料 品	436,824	10.7	449,943	11.1	3.0
② 金 属 製 品	479,657	11.7	480,296	11.8	0.1
③ 一 般 機 械	95,738	2.3	95,217	2.3	▲0.5
④ 建 設	551,296	13.5	496,618	12.2	▲9.9
⑤ 電 気 機 械	16,479	0.4	20,563	0.5	24.8
⑥ 輸 送	1,642,380	40.2	1,633,432	40.2	▲0.5
⑦ 化 学	4,575	0.1	5,288	0.1	15.6
⑧ そ の 他	505,405	12.4	504,173	12.4	▲0.2
⑩ 内 需 計	3,854,849	94.3	3,804,921	93.6	▲1.3
⑪ 輸 出	231,309	5.7	259,057	6.4	12.0
⑫ 合 計	4,086,157	100.0	4,063,978	100.0	▲0.5

珪素とマグネ 相場反発

アルミニウム合金用の添加金属である金属珪素とマグネシウムの価格が反発して注目される。金属珪素は年間約19万トン輸入され、このうち18万トンを中国産が占める。マグネシウムは年間4万トン余りの需要を中国産に依存している。

2014年後半から、生産過剰による在庫の増加が相場を下押す構造が続いてきたが、政府主導の過剰設備と生産調整対策を目指す動きがこれらの業界に波及していると伝えられる。

しかし両金属業界とも稼働率は30～40%の低稼働と伝えられており、採算ラインに達すれば再び巨大能力が稼働するとも予想される。（右図は国際相場）



さわやかな5月の風によって、鯉のぼりが元気に工場の空を泳ぎます。

工場に隣接する矢作川(やしがわ)の堤防は、すっかり新緑の一角となって散策の好適地となりました。

冬中の伊吹おろしと枯野の殺風景な環境から一変しました。



第72回 世界鑄造会議 5月21～25日 ポートメッセなごや

”世界鑄造会議2016”(WFC2016)が5月21日(土)より25日(水)まで名古屋市港区金城ふ頭2-2のポートメッセなごやで開かれる。

この世界鑄造会議は隔年開催で、今大会は72回目を迎える。鑄造工学の更なる発展を目指し、研究者・技術者が一堂に会し、互いの交流を深め、最新の情報を交換する貴重な機会となる。

鑄物産業の発展に寄与するため、多くの業界人の参加を得て実りあるものになりたいと、この会議の組織委員会委員長の木口照二氏は述べている。

プログラム

- ・ 5月21日(土) 大会受付 歓迎会
- ・ 5月22日(日) 開会式 特別講演 技術講演
- ・ 5月23日(月) 技術講演 晩餐会
- ・ 5月24日(火) 技術講演 開会式
Foundrymen's Night
- ・ 5月25日(水) 工場見学
- ・ 5月22～24日 展示会

内 容

特別講演 基幹産業へ部材を供給する産業として重要な役割を担っている鑄造業の現状、変化する顧客ニーズに対応する技術開発、海外鑄物企業との国際競争など日本の鑄造業の現状と将来について。

技術講演 参加者に有益な情報を提供するだけでなく内容の濃い技術交流を目指し、日本の鑄造技術の世界に発信し、世界の鑄造関係者と交流をはかる。

展示会 “JAPAN FOUNDEX 2016” “日本のモノづくり力”をテーマにする企業の技術と製品の展示紹介、海外企業の新技術、新商品の展示、大学高専の技術の紹介コーナー等展示を企画。

懇親会 歓迎会、晩餐会、Foundrymen's Nightの参加者に親交を深めるための懇親会を開催。日本の伝統芸能である三味線やバイオリン演奏を準備。

工場見学 日本の代表的鑄造工場を実見できる貴重な機会を提供する。「百聞は一見に如かず」日本のモノ作りを支える鑄造工場の見学は、国際技術交流の絶好の機会となる。

工場見学コース

多方面の見学コースが準備されているが、アルミニウム合金の関連コースのみ紹介する。

- (コース・4) 愛知機械工業(松阪)、DMG(伊賀)
- (コース・5) 美濃工業(中津川)、大同(中津川)
- (コース・6) アイシン(西尾)、デンソー(西尾)
- (コース・7) アーレスティ(豊橋)
ヤマハ発動機(森町と磐田市)

お問い合わせ先 wfc2016@convention.co.jp

西尾茶

矢作川の下流台地は、水はけが良く地味が肥えて茶の木の育成に最適とされている。

新芽は太陽光を遮蔽されておだやかに育ち手で摘みとられ高級茶に加工され、西尾茶として名高い。抹茶の生産は日本一を誇り、毎年この季節に茶葉クラブのメンバーが古式豊かな茶摘み行事を披露する。



社内情報

- ◎花壇に植えました名海海運さんご寄贈のチューリップの球根が立派に成長して、例年のように色とりどりの見事な花が咲いています。
- ◎4月末で決算棚卸しを行いました。原料納入業者と運送関係の皆さんに大そうご無理をお願い致しました。
- ◎おかげ様で、順調に棚卸しを終わりました。ご協力に厚くお礼を申し上げます。

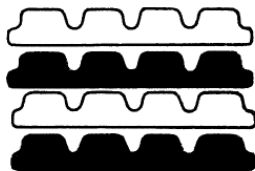
編集後記

- ☐4月14日、熊本・大分で大地震があり被害がいろいろ伝えられています。
- ☐西尾市においても、昭和20年1月深夜に今回と同様の直下型地震に見舞われ2,000名の犠牲者を出した経験があります。1日も早い復興を祈ります。
- ☐中国から伝えられる異常な過剰生産能力の問題は、鉄、非鉄の基幹産業に限定されるのか、もっと広範囲に存在するものか、大そう興味があります。

アルミ缶リサイクルング 鑄造用アルミニウム合金地金



アルミニウムそのものでは強さ、加工性などの点で不十分で、銅、シリコン、マグネシウム、亜鉛、鉄、マンガン、ニッケル等を用途に応じて添加合金しますと、非常に優れた強さ、鑄造し易さ、加工し易さ、耐熱性などが得られます。添加金属は非常に微量の場合もあり、そのため厳重な品質管理が要求されます。当社では発光分光分析装置を使用して、迅速・正確な品質管理の下で非常に優れたアルミニウム合金を作り、日本の産業の発展に寄与しています。



ISO 9001 審査登録

アスカ工業株式会社

〒444-0303
愛知県西尾市中畑町卯新田上28
TEL <0563> 77-0500 代
FAX <0563> 77-0501
<http://www.al-asuka.jp/>